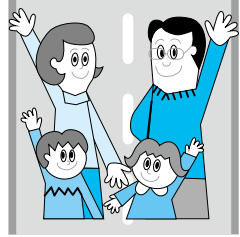


【狭あい道路拡幅整備事業】

みんなの力で 安全で快適なまちづくり

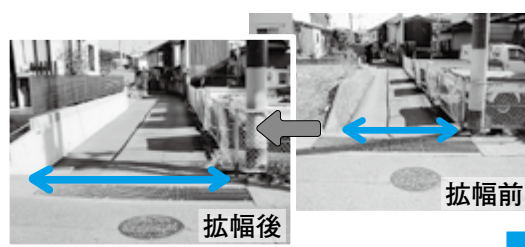


狭い道路は救急車や消防車が入りにくく、住環境や防災上の問題を抱えています。
安全で快適なまちづくりのために皆さんのご協力をお願いします。

狭あい道路拡幅整備事業とは

狭あい道路とは、一般の通行に使用されていて建物が立ち並んでいる幅1・8メートル以上4メートル未満の道路のことです。

この事業は、道路の幅を4メートル以上確保できるように、狭い道路に面した敷地を持つている人に、門や塀などを移設していただき、それによって生じた土地（後退用地）を市が整備し、道路の幅を広げていくものです。



事業の状況

期間／
平成16年10月1日～
平成25年12月末現在
事前協議件数／
1652件

拡幅整備した道路／
約21キロメートル
★市内には幅が4メートルに満たない狭い道路がまだ多くあります。

こんなときは事業を行います

○狭あい道路に接する敷地で、建物の新築や増改築をする場合
建築確認申請を提出する前に、建築主と市が、拡幅整備の方法や用地の管理方法・助成内容について事前協議を行います。

○狭あい道路に接する敷地の地権者が、新築や増改築はしないが、道路拡幅を希望する場合
道路を拡幅する前までに、地権者と市が事前協議を行います。

○狭あい道路の連続した区間（交差点から交差点まで）を一体的に拡幅整備することに地域の皆さんの協力が得られた場合
地権者代表と市が事前協議を行います。

■拡幅整備への助成をします
後退用地を市に寄附していただける場合には、後退用地内にある門や塀などを取り除く費用や、新設費用の一部を助成します。

問い合わせ／建築指導課

☎(51)26003 ☎(51)2773

セカンドライフの顔

第11回 問い合わせ 市民協働課 ☎55-2701

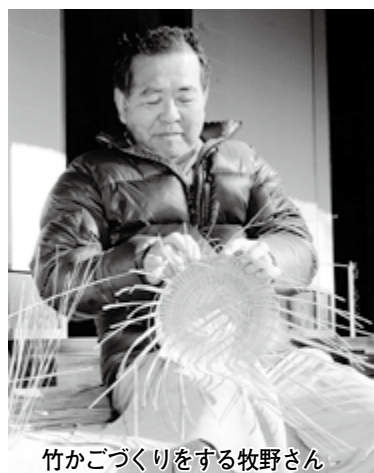
「セカンドライフ」は主に、定年退職後や子育て後など第2の人生を指します。このコーナーでは、セカンドライフを楽しんでいる還暦世代の人を紹介します。
今回紹介するのは、**牧野保さん**（前田）。在職中から、竹工芸の普及活動や、50年以上にわたるボーイスカウト教育など、毎日充実した生活を送っています。

竹工芸は自分の生涯学習であり、セカンドライフ

私は、市職員として社会教育に長年携わっていました。公民館勤務だった約30年前、かぐや姫の里のPRとして、かつて地元の伝統工芸だった行李などの竹工芸を復活させ、地場産品にして広めたいと思い、講座を企画しました。私自身もこの講座に参加してから、竹かごづくりを生涯学習として行うようになり、ライフワークにしたいと思うようになりました。退職後は、自分で始めた講座の講師や、仲間と立ち上げた同好会で活動を続けています。

また、ボーイスカウト教育に50年以上かかわり、同じ思いを持つ全国の仲間が大勢できました。

これからも、仲間とともに、セカンドライフである竹工芸とボーイスカウトを楽しみながら続けていきたいです。



竹かごづくりをする牧野さん

※富士山スズ竹工芸同好会
毎週水曜日の9:00から広見公園内旧稲垣家住宅で、竹かごづくりをしています。
[参加希望などの問い合わせ]
牧野 方 ☎61-2775

セカンドライフについて詳しくはセカンドライフ相談室へ
事務局／一般社団法人まちの遊民社 ☎(51)1112